

週刊 SSH お茶の水女子大学

12月9日の放課後に、SSHの物理コースの2年生がお茶の水女子大学理学部物理学科の奥村研究室に研究室見学に行きました。

奥村研究室はソフトマターの研究を行っています。主にシャボン玉のような泡や液体を扱う液体系、小麦粉のように一つ一つは固体でも全体では流体的な挙動を示す粉粒体系、切り紙の強度などを研究する破壊系を扱っています。

今回は大学四年生と大学院生から直接、それぞれの実験器具を実際に見ながら研究を紹介していただきました。切り紙など身近なテーマを手作りの実験器具で研究する様子は、生徒にとって良い刺激になりました。生徒からは、破壊の研究をしていたが割れた結果しか見ていなかったが、今回研究室見学をして破壊される様子を撮影して解析しても楽しそうといった研究の新たな視点の発見や、カメラでの撮影方法がとても参考になったので取り入れたいなど日々の研究にも今回の体験が役立ちそうです。また、研究だけでなく、志望学科や志望校の決め方など進路に関わる相談も多くみられました。色々な経験を積んで視野を広げて進路選択をしてもらいたいと思います。

